



ライオンズの皆さんへ

世界中の人々が一致団結して新型コロナウイルス（COVID-19）の感染を抑えるための取り組みを進めている昨今ですが、世界各地のコミュニティが大きな打撃を受けています。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）は、こうして人と人とをつないでいるとも言えますが、人間どうしを結び付けるものは、ほかにもあります。全世界をつなぐライオンズのコミュニティに加わることです。今は多くの人にとって苦難の時であることは承知しています。ご自身の、そして大切な人の健康を守る治療を必要としている人にとっては、何よりも治療が最優先です。隔離または社会的距離戦略のため、自宅またはその近辺にとどまる取り組みを継続している人は、それぞれに異なる課題に直面している場合もあるでしょう。

こんな苦難の時にも、ライオンズクラブ国際財団（LCIF）はいつもそこにいることを思い出していただければ、お気持ちが少しでも落ち着くのではないのでしょうか。LCIFは、COVID-19の感染者が激増している地域に対して緊急援助交付金で支援する手続きを優先して進めています。各種交付金の主眼は、世界保健機関（WHO）の施策や米疾病対策予防センター（CDC）が策定したガイドラインと連携している、既存の各地の医療機関や危機管理システムで発生しているニーズに対処するという点にあります。私たちのCOVID-19対策に対するLCIFへの寄付は、LCIFの一般災害援助資金で受け付けております。

今の世界にはこんなことばかりがあふれていますが、今回の私からのEニュースレターでは、ウイルス関連のニュースからしばし離れて一息つける話題、そして私たちがひとつになれる話題を提供しようと思います。LCIFでは、解決策の見えないトラブルに直面し、私たちの多くがまさに今感じているような、無力感に襲われたり苛立ったりした人が主役であるストーリーを募集しています。ただし、あなたの財団であるLCIFがこの取り組みを進める目的は、そうしたストーリーで皆さんにあるものを届けることです。それは希望です。皆さんがそのストーリーに触れたことで、私と同じように心が浮き立つことと、ストーリーが奉仕を続ける意欲をかき立ててくれることを私は望んでいます。

LCIF理事長として、私はこの機会に、皆さんが仲間のライオンズとの連絡を絶やさないことを改めてお勧めします。どうぞこれからも無事にお過ごしください。そしてまた奉仕の場で、皆さんやライオンズのコミュニティとつながれる日が来るのを楽しみにしています。

友情を込めて

グドラン・イングバドター
ライオンズクラブ国際財団理事長